

- 問1 近畿地方のある府県の統計資料において、夜間人口が約258万人であるのに対し、昼間人口は約263万人となっており、昼間人口比率が100パーセントをわずかに上回っています。この数値データから読み取れる京都府の状況について、正しい説明はどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
1. 京都府から大阪府などの都市部へ働きに出る人が多いため、昼間の人口が夜間の居住者数を下回っている。
 2. 京都府内での出生率が急激に上昇したため、年少人口の割合が昼夜を問わず増加している。
 3. 周辺の府県から京都府内の学校や職場へ通う人が多いため、昼間の人口が夜間の居住者数を上回っている。
 4. 京都府内の住宅開発が進んだ結果、夜間に居住する人口が昼間の活動人口よりも大幅に多くなっている。
- 問2 近年、多くの地方自治体では過疎化への対策として、都市部からの地方移住を支援する取り組みを強化しています。このうち、一度は都市部へ流出した若者が「自分の出身地」へ戻って定住することを指す用語として、正しいものはどれですか。 (2023年 鳥取県公立入試 類似)
1. Jターン現象
 2. Iターン現象
 3. Uターン現象
 4. 過密現象
- 問3 宮崎平野や高知平野などの冬でも温暖な地域において、ビニールハウスなどを活用して作物の成長を早め、他の産地よりも出荷時期を早めることで収益を上げる栽培方法を何といいますか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
1. 促成栽培
 2. 抑制栽培
 3. 近郊農業
 4. 二毛作
- 問4 日本の太平洋沖合では、南からの暖かい海流と北からの冷たい海流がぶつかり合う「潮目（潮境）」が形成されます。この海域が、世界有数の良好な漁場となる理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 寒流と暖流が混ざり合うことでプランクトンが発生しやすくなり、それらを餌とする両海流の魚が集まるため
 2. 水深200mまでの浅い海底が続くことで太陽光が届きやすく、魚の産卵に適した環境が整っているため
 3. 一年を通じて水温が一定に保たれるため、季節による魚の移動がなく安定した漁獲が可能になるため
 4. 暖流が深層の栄養分を海面に運び上げることで、大型の回遊魚が常に一定の場所に留まる性質を持つため
- 問5 日本の輸入に関する統計を確認すると、1960年の輸入総額は約1.6兆円でしたが、2017年には約75.4兆円へと劇的に増加しています。この期間における日本の輸入の変化や特徴について述べた文として、正しいものを選択してください。 (2020年 香川県公立入試 類似)
1. 資源の再利用が進んだため、鉄鉱石や石炭の輸入額は1960年と比べてほぼ横ばいである。
 2. 日本の農業技術が向上したため、食料品の輸入額は1960年よりも減少した。
 3. 海外の工業化が進んだことで、石油などの原燃料の輸入額は1960年よりも減少した。
 4. 国内の生産コストの上昇や企業の海外進出により、製品輸入の割合が増加した。
- 問6 日本国内の発電所数を比較すると、火力発電所が全国に数十か所程度であるのに対し、太陽光発電所は全国に数千か所以上設置されています。このように、太陽光発電が全国各地に極めて多く設置されている理由として適切なものはどれですか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 発電コストにおいて、火力発電よりも燃料費や維持管理費が高くなるように設定されているため
 2. 一箇所あたりの総発電量が火力発電よりも大きく、効率的に全国の電力を賄うことができるため
 3. 大規模な設備を必要とする火力発電に比べて建設が容易であり、小規模な土地でも設置可能なため
 4. 天候や季節に関わらず一定の電力を供給できるため、どのような地域でも安定した運用が可能なため
- 問7 近年、日本を訪れる外国人観光客が急増していますが、その背景には交通網の発達や国際的な評価の高まりなど、さまざまな要因があります。外国人観光客が増加する要因として、経済や交通、文化の側面から説明したものととして「適当でないもの」を次の中から選びなさい。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
1. 他国の通貨に対して円高が進み、日本での宿泊費や食費が割安になること
 2. 格安航空会社（LCC）の直行便が増加し、日本への移動コストが低下すること
 3. 他国の通貨に対して円安が進み、日本での買い物やサービスが割安になること
 4. 日本独自の伝統文化や自然環境が世界遺産に登録され、国際的な知名度が向上すること
- 問8 1985年から2010年にかけての日本における米の需給バランスについて、生産量は減少傾向にありますが、自給率は約100%という高い水準で推移しています。このように生産量が減っているにもかかわらず、自給率が維持されている理由として最も適切な説明はどれか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. 政府が米の輸出を強力に推進し、海外市場での需要を拡大させたため
 2. パンや麺類の消費が減り、国民の米に対する需要が再び高まったため
 3. 品種改良によって単位面積あたりの収穫量が飛躍的に増加したため
 4. 食生活の変化によって米の消費量も並行して減少しているため
- 問9 日本の耕地面積構成比について、全国平均では「田」が約55パーセントを占めていますが、神奈川県小田原市のように「田」の割合がわずか5パーセント程度と極めて低く、全国平均を大幅に上回る割合で別の土地利用が行われている地域があります。小田原市において、このように「田」に代わって高い割合を占めている耕地の種類として正しいものはどれですか。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
1. 茶畑
 2. 牧草地
 3. 果樹園
 4. 桑畑
- 問10 近年では、かつて見られたドーナツ化現象とは対照的に、一度は郊外へ流出した人口が再び都心部へ戻ってくる「都心回帰」という現象が見られます。この背景として考えられる、都市の再開発に関する具体的な動きはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 都心の工場跡地などに大規模な超高層マンションが建設され、職場に近い利便性の高い住環境が整備されたこと。
 2. 山間部の過疎化を防ぐために、都心のオフィスをすべて地方へ移転させ、都心部を巨大な公園にしたこと。
 3. 郊外のニュータウンにある住宅をすべて商業施設に建て替え、住居を都心の地下街に集約させたこと。
 4. 地価がさらに高騰し続けた結果、一般世帯が家を持つことを諦め、都心の路上やオフィスに住み着いたこと。
- 問11 「育てる漁業」には「養殖業」と「栽培漁業」がありますが、栽培漁業の説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 卵からふ化させた稚魚を外敵に襲われにくい大きさまで育ててから、海や川に放して資源の回復を図ること。
 2. 網などで仕切った一定の場所で、稚魚を出荷できる大きさになるまでエサを与えて育て続けること。
 3. 稚魚を放流した後、その魚が別の海域へ移動しないよう、音響などのハイクテク技術で誘導し続けること。
 4. 海外から輸入した稚魚を日本の沿岸部で成魚にし、加工品として輸出すること。
- 問12 原油や天然ガスなどの鉱産資源の輸出が総輸出額の大部分を占める国において、このような貿易構造がもたらす影響や課題に関する説明として最も適切なものを選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 製品の加工度の高さにより、常に安定した利益を得ることができる。
 2. 国内の工業化が急速に進むため、機械類などの輸出品目が多角化しやすい。
 3. 資源の国際価格の変動が、自国の経済や国家財政に直接大きな影響を与えやすい。
 4. 天候不順や害虫の発生によって、毎年の輸出品の生産量が大きく変化しやすい。